

地域の足を考える ～人を乗せ、想いを運ぶ 公共交通～



公共交通の役割と現状

バスやタクシー、鉄道などの公共交通は、通勤・通学、通院や買い物など、私たちの日常生活を支える大切な社会資本です。特に、車を運転できない学生や、免許を返納した高齢者にとっては欠かせない移動手段となっています。

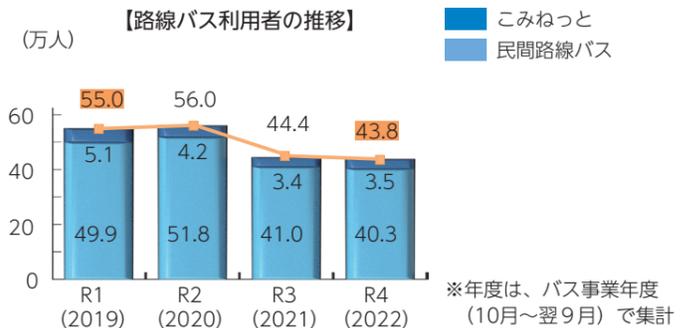
また、公共交通は、人と地域のつながりを生み、持続可能な地域社会を構築する役割を果たします。単に人を運ぶ手段であるだけでなく、地域全体を支える役割を担っているのです。

しかし、人口減少や自家用車の普及などを背景に、全国の大都市では公共交通の利用者は年々減少しており、交通ネットワークの維持確保が大変厳しい状況となっています。

公共交通の衰退は、地域の活力低下にもつながる深刻な問題です。未来の自分や家族のために、公共交通について一緒に考えてみましょう。

路線バス利用者の推移

本市の、民間路線バスとこみねっと(市循環バス)の利用者は、令和元年度の約55万人から、令和4年度には約43万8千人にまで減少し、3年間という短期間で約2割も落ち込みました。



市内を走る路線バス

現在、地域間を結ぶ主な移動手段として、民間事業者が運行する複数の路線バスのほか、それを補う手段として、こみねっとや予約型乗合タクシーなどを運行しています。

これらは、主に白河駅を起点に、市内各地域や近隣自治体間を結び、地域住民の生活を支えています。

福島交通(株)

白河駅と関の森公園を結ぶ「白河の関線」など、市内のさまざまな地域でバスを運行しています。そのため、多くの市民が日常の足として利用しており「昔乗ったことがある」という方も多いのではないのでしょうか。特に、本市と石川町を結ぶ路線は、現在でも多くの学生が利用しており、

欠かすことができない移動手段となっています。

支払いにはICカードの「NORUCA(ノルカ)」が利用できるほか、近々、クレジットカードなどのタッチ決済が可能になります。

ジェイアールバス関東(株)

本市と棚倉町を結ぶ「白棚線」は他の路線に比べ運行本数が多く、沿線住民のほか、多くの学生が利用しています。

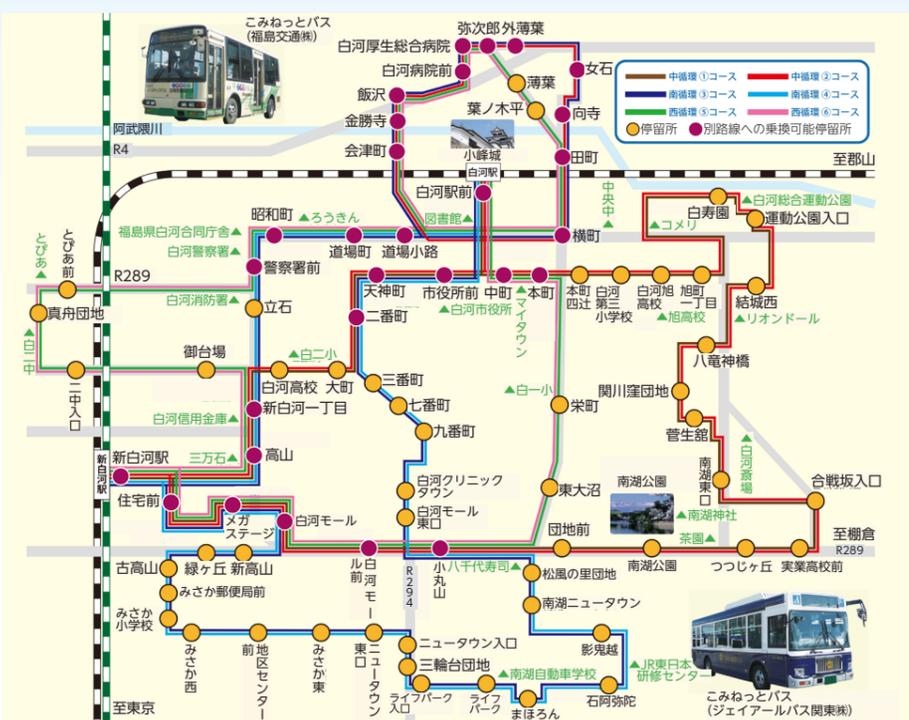
かつて鉄道として使用していた線路敷を道路に転用した区間(バス専用道)があるなど、全国的にも貴重な特色を持ち、特に表郷地域の方々を中心に親しまれています。

白棚線では、ICカード「LOCOCA(ロコカ)」を5月中旬から導入し、タッチ決済が可能になります。

こみねっと(市循環バス)

白河駅前を発着点に、公共施設、駅、病院、中心市街地、住宅団地、大型ショッピング

センターなどを巡回する3ルート(中循環・南循環・西循環)で運行しています。



地域の公共交通を支える方たちの、それぞれの想い

公 公共交通の利用者は年々減少し、公共交通を取り巻く環境は厳しくなっています。公共交通に対する人々の関心が現状のままであれば、公共交通の維持は今後加速度的に難しくなると感じています。

高齢化が進む社会で、公共交通を維持・発展させていくことは、質の高い生活を確保するための大きな要素であると感じる一方、このままでは必要な時に必要なサービスが受けられなくなってしまうと懸念しています。

今、公共交通を必要としている方だけでなく、普段自家用車を利用していらっしゃる方も含め、将来の自分や家族のために公共交通の役割を考える時間を作ってみてください。



白河市地域公共交通活性化協議会 矢内 文一 委員

バ スの乗り方教室などを実施し、利用者を増やす取り組みをしています。さらなる利用促進が必要と感じています。

当社の路線バスでは「バスロケーションシステム」を導入しており、バスの位置情報をリアルタイムで確認できるほか、近々、クレジットカード・QRコード・電子マネー決済システムを導入予定で、利便性の向上に向けた取り組みを進めています。関の森公園が終点の「白河の関線」がありますので、親子でバスを利用していただきたいと思います。

市民の足として公共交通の役割を果たしていくため、利用者の方々の皆さまや行政と協力しながら持続可能なバス運行を目指してまいります。



福島交通(株) 白河営業所 力丸 博幸 所長

利 用者減少が続く中、事業者・行政・地域が一体となって公共交通を利用していただく仕組み作りが必要と考えています。当社では安全が最優先であります。その中で安全教育に力を入れた指導や研修など、安全安心を提供するために全力で取り組んでいます。

白柵線は開業67年を迎える歴史ある路線です。インターネット限定で、1日フリー乗車券を販売しているほか、5月中旬からSuica機能を搭載したICカードが利用でき、キャッシュレス化により利便性も向上します。

沿線には南湖公園やラーメン店が多くありますので、ぜひ白柵線を利用して、市内を満喫していただきたいと思います。



ジェイアールバス関東(株) 白河支店 宮本 昭一 支店長

デマンド交通とは？

路線バスや鉄道は多くの人を同時に運べるメリットがありますが、利用者が減少傾向にある昨今では、運行すればするほど赤字が膨らむ状況になっています。

そこで近年、全国各地で導入が進んでいるのが、利用者の予約に応じて、運行する時刻や経路が変わる「デマンド交通」という移動サービスです。

予約に応じて運行することで、運行費用を抑えつつ、バスのように複数人を一度に運ぶことができ、タクシーのように利用者ごとの異なる要望に応じることが出来ます。

本市では「予約型乗合タクシー」という形でデマンド交通を運行しています。



利用方法

現在は「表郷・旗宿地域」「大信地域」「東地域」「大沼地区」「小田川地区」で利用でき、利用者の「自宅」と「指定目的地」の間を運行しています。

- ①登録
初めて利用する場合、事前に利用登録が必要です。
- ②利用予約
利用日の前日午後3時30分までに予約をお願いします。
- ③乗合タクシー送迎
「自宅」にタクシーが迎えに来ます。

●運行日
平日(年末年始・祝日除く)

●利用料金(1乗車につき)
▽中学生以上 500円
▽小学生・障がい者 250円
▽未就学児 無料

●指定目的地・運行時間
各地域で異なります。詳しくは、市ホームページでご確認ください。



利用者の声



▲左から鈴木さん、和知さん、根本さん、我妻さん、東タクシーの渡邊さん

みんな仲良くだから元気に！

「どのくらいの頻度で利用していますか？」

我妻さん 毎週月曜日と金曜日に利用しています。毎回このメンバーで「きつねうち温泉」に来ているんですよ。

和知さん 行きも帰りも利用しています。いつも同じ時間と場所でお願しているの、利用がとても楽ですね。
乗合タクシーの良いところを教えてください。

地域への想い



東タクシー 渡邊 千恵子 運転士

現 在は、主にきつねうち温泉や買い物に利用していただいています。初めて利用する方も、その後何回か利用してくれるうちに顔見知りになって親近感が出てきます。

買い物の際、帰りだけ利用する方もいますが、荷物を玄関先まで運ぶなど、年配の方や足の不自由な方が転ばないよう、できる範囲で利用者の安全面も気を配っています。

今後は運行範囲を広げ、もっと皆さんの役に立ちたいという想いもあります。一人からでも気軽にご利用ください。乗合タクシーが人と人とのつながりを生むきっかけになればうれしいです。

お知らせ

バス・タクシー 移動支援助成券

高齢者や障がい者(運転免許証を持っていない方)、妊産婦の移動を支援するため、バスとタクシーで利用できる助成券を交付します。対象者や申請方法など詳しくは、市ホームページをご覧ください。



バスの乗り方教室

市では、市内のバス事業者が講師をする「バス乗り方教室」を実施しています。実際の車両を使用した乗車体験もできます。

高齢者サロンや小・中学校のほか、開催を希望する施設・団体がありましたら、気軽にお問い合わせください。



生活防災課 内2706

未来へつなごう 公共交通



近年、全国各地で経営状況の悪化などを理由に、事業の撤退や路線の廃止などが相次いでいます。本市も決して例外ではなく、利用者数がこのまま減少し続ければ、経営状況はますます悪化することになり、今ある公共交通を維持することが難しくなってしまいます。

では、公共交通を将来につなげていくためには、どうしたら良いのでしょうか。そのためには、多くの方に利用いただくことが何よりも大切です。市民一人ひとりが年1回ずつ公共交通を利用するだけでも、大きな効果があります。

この機会に「地域の公共交通は地域の住民が守っていく」という意識を持ち、積極的に公共交通を利用しましょう。